

平成26年度地域包括ケアモデル事業の主な取組状況一覧

平成27年1月末現在

分野	項目	①地区医師会モデル			②訪問看護ステーションモデル	③医療・介護等一体提供モデル	④認知症対応モデル	⑤単年度モデル		
		安城市	豊川市	田原市	新城市	豊明市	半田市	岡崎市	豊田市	北名古屋
関係機関のネットワーク化	地域包括ケア基本方針等検討会議(地域包括ケアシステムの構築の手順・役割分担等の検討)	1回開催 【構成員】市医師会、市歯科医師会、市薬剤師会、市社協、県保健所等 【内容】安城市の地域包括ケアシステムについて等	1回開催 【構成員】市医師会、市社協、県保健所等 【内容】地域包括ケアに関する取組・役割等	1回開催 【構成員】市医師会、市歯科医師会、市薬剤師会、市社協、県保健所等 【内容】地域包括ケアシステムの推進、在宅医療・介護の連携について等	2回開催 【構成員】訪問看護、市医師会、地域包括支援センター、県保健所等 【内容】訪問看護ステーションモデル構築の推進について等	1回開催 【構成員】藤田保衛大、医師会、地域包括支援センター、市社協、区長連合会代表等 【内容】豊明市地域包括ケア連絡協議会及び関係部会の立ち上げ等	3回開催 【構成員】市医師会、市歯科医師会、市薬剤師会、介護事業者、地域住民代表、県保健所等 【内容】地域包括ケアシステムの構築を目指して等	—	—	—
	関係機関連絡会議(地域包括ケアシステムを構築していく上で必要な対策や、地域ケア会議から抽出された地域課題等の解決に向けた対策の検討(単年度モデルは地域課題等の解決に向けた対策の検討))	7回開催 【構成員】医師会部会、歯科医師会、薬剤師部会、ケアマネット部会等の代表者 【内容】地域包括ケアシステムモデル事業の進捗状況について、在宅見守りノートについて等	3回開催 【構成員】市医師会、市歯科医師会、市薬剤師会、市介護保険関係事業者連絡協議会等 【内容】地域包括ケアモデル事業について、地域課題の検討等	9回開催 【構成員】市医師会、市歯科医師会、市薬剤師会、地域包括支援センター等 【内容】地域包括ケアモデル事業の取組や地域課題等	3回開催 【構成員】訪問看護、市医師会、市歯科医師会、市薬剤師会、市立病院等 【内容】新城市が超高齢化社会を生き抜くために、新城市の社会資源について等	5回開催 【構成員】藤田保衛大、医師会等 ※ICT医療福祉連絡部会、入退院調整部会、見守り生活支援部会の3部会で構成 【内容】いきいき笑顔ネットワーク活用促進に関する取組、見守り生活支援、入退院前方後方連携支援等	10回開催 【構成員】市医師会、市歯科医師会、市薬剤師会、市立病院、訪問看護、地域包括支援センター等 【内容】リビングウィル(事前指示書)・身元保証、新しい総合事業、住まいに関するニーズ調査について等	3回開催 【構成員】市医師会、市歯科医師会、市薬剤師会、民生委員、介護支援専門員等 【内容】地域包括ケアモデル事業について、グループワークによる検討等	3回開催 【構成員】市医師会、市歯科医師会、市薬剤師会、自治区長、民生委員、老人クラブ等 【内容】豊田市を取り巻く現状、見守りに関する課題等	2回開催 【構成員】市医師会、市歯科医師会、市薬剤師会、在宅療養後方支援病院、社協等 【内容】地域包括ケアモデル事業について、医療と介護の連携における課題等
	地域ケア会議(処遇困難事例の検討)	地区会議2回開催(中学校区域) 個別会議16回開催(町内会区域)	3回開催	3回開催	5回開催	9回開催	事例検討会10回開催(専門職で構成) ふくし井戸端会議3回開催(中学校区域)	—	—	—
	社会資源、住民ニーズの把握(各種アンケートの実施、資源マップ(リスト)の作成等)	第6期介護保険事業計画策定に合わせた調査の実施により社会資源、住民ニーズを把握 病院、介護事業所等への在宅医療アンケートの実施により社会資源を把握 マップまたは在宅医療に関する情報を明記した医療機関一覧表を作成予定	第6期介護保険事業計画策定に合わせた調査の実施により社会資源、住民ニーズを把握 市民、医療機関、介護事業所等への在宅医療アンケートの実施により社会資源、住民ニーズを把握 医療・介護等の資源マップを市ホームページ(WEB版)で掲載、公開中	第6期介護保険事業計画策定に合わせた調査の実施により社会資源、住民ニーズを把握 病院、介護事業所等への在宅医療アンケートの実施により社会資源を把握 医科歯科薬科情報シート、在宅医療用語集を作成、医療・介護事業所に配布 医療・介護マップを作成し、全戸配布	第6期介護保険事業計画策定に合わせた調査の実施により社会資源、住民ニーズを把握 在宅医療に関する現状調査の実施により社会資源を把握 生活圏域ニーズ調査(高齢者の生活課題について)の実施により住民ニーズを把握	第6期介護保険事業計画策定に合わせた調査の実施により社会資源、住民ニーズを把握 豊明団地における高齢者の生活ニーズ調査を実施 医療・介護関係者向けの特徴的なサービスや空き情報等のリアルタイム情報掲載ウェブサイトを作成予定	第6期介護保健事業計画策定に合わせた調査の実施により、社会資源、住民ニーズを把握 住まいに関するニーズ調査を実施	第6期介護保険事業計画策定に合わせた調査の実施により、社会資源、住民ニーズを把握	第6期介護保険事業計画策定に合わせた調査の実施により、社会資源、住民ニーズを把握	第6期介護保険事業計画策定に合わせた調査の実施により、社会資源、住民ニーズを把握
主な成果・課題(自己評価)	○ 安城市における今後の地域包括ケアシステム全体の構築に関し、関係機関の理解と協力を得られた。 ● 関係機関連絡会議に課題をあげられるよう、地域ケア会議を活発化していくことが必要である。	○ 地区医師会と行政関係機関との間で、地域包括ケアシステムの構築に向けて、一体となって取り組んでいく認識の共有ができた。 ● 地域ケア会議は個別ケア会議の事例が少ないため、地域課題等がしっかり見えてこない状況にある。	○ 関係機関連絡会議は毎月開催しており、顔の見える関係が築けた。関係機関の課題も話し合わせ、検討しながらコミュニケーションが図れた。 ○ 医科歯科薬科情報シート、医療・介護マップの作成を通して、関係者の理解・組織的な協力を得ることができた。	○ 地域包括ケアシステム構築に当たった取組の方向性、多職種間の協力体制、事業内容等について、関係機関から理解・協力を得られた。 ● 住民ニーズを反映した介護予防に関するサービスをどのような手法で効果的に周知するかが課題。	○ 地域のキーパーソンの合意形成組織を立ち上げ、地域包括ケア構築の重要性を共有できた。 ● 行政内横断的連携体制や市域を越えた広域的取組に関する連携体制は検討できておらず、今後の課題である。	○ 多職種による協議の場ができたことにより、地域課題の集約ができるようになった。 ○ 多職種がそれぞれの立場で課題について意見することで、解決への方向性を示すことができ、専門部会で具体的な解決策を検討していく仕組みができた。	○ 具体的事例を通じて、医療・介護・生活支援・見守り等のそれぞれの観点で、課題抽出及び解決方法等について議論することができ、多職種間の顔の見える関係を構築することができた。	○ 関係機関連絡会議では、豊田市の高齢者を取り巻く現状等について共有するとともに、ブロック地域ケア会議や地域包括支援センター業務を通じて出てきた「高齢者の見守り」、「認知症」に関する問題・課題を基にした意見交換を通じて、それぞれの団体の立場における取組状況や支援策について、情報共有ができた。	○ 関係機関連絡会議が、多職種の意見交換の場として定着し、各職種の代表者がそれぞれの立場から在宅医療の課題について検討し、今後の方向性を定めることができた。特に、意見交換を通じて、目的の一つである顔の見える関係を構築できた。	